

業績ハイライト

2020年9月中間期の決算

当行単体の業績につきまして、経常収益は、貸出金利息や役務収益が増加したことや、その他経常収益の増加等により、前年同期比2億30百万円増加の169億71百万円となりました。

経常費用は、外国為替売買損が減少したことに伴いその他業務費用が減少したことや、営業経費の減少により、前年同期比3億77百万円減少し146億49百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比6億8百万円増加し23億22百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比3億38百万円増加し14億43百万円となりました。

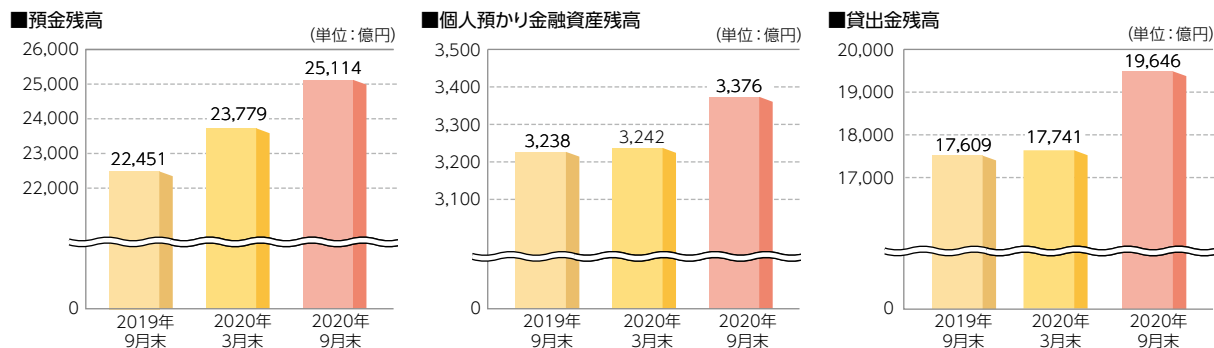
なお、連結経営成績につきましては、連結経常収益で前年同期比2億66百万円増加の207億85百万円、連結経常利益で前年同期比5億14百万円増加の23億41百万円、親会社株主に帰属する中間純利益で前年同期比2億53百万円増加の13億29百万円となりました。

預金・貸出金等の状況

2020年9月末の総預金残高は2兆5,114億円となり、前年同期比2,663億円増加、2020年3月末比1,335億円増加しました。また、個人預かり金融資産残高は3,376億円となり、前年同期比138億円増加、2020年3月末比134億円増加しました。

2020年9月末の総貸出金残高は1兆9,646億円となり、前年同期比2,037億円増加、2020年3月末比1,905億円増加しました。

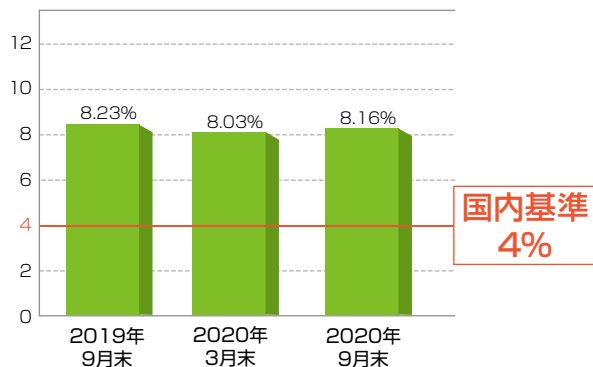
(注)個人預かり金融資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。



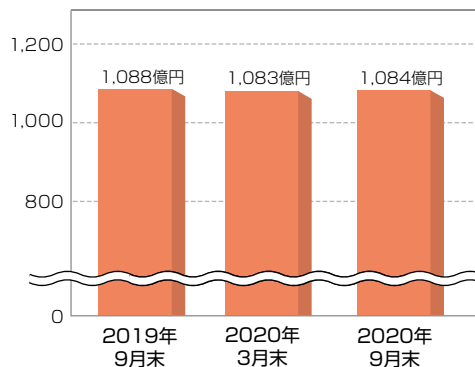
自己資本比率

■ 2020年9月末の自己資本比率(国内基準)は、2020年3月末比0.13%ポイント増加し8.16%となりました。

■自己資本比率(国内基準)



■自己資本額(国内基準)



不良債権の状況

■ 債権総額中に占める金融再生法開示債権(いわゆる不良債権)の比率は、2020年3月末の2.06%が2020年9月末には2.05%となりました。

なお、当行は部分直接償却を行っておりませんが、部分直接償却を行った場合のこの比率をみますと、2020年9月末で1.84%(2020年3月末では1.84%)となっております。

■2020年9月末の不良債権の状況

